秋田県の死亡野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスを検出!!

秋田県由利本荘市において回収されたハシブトガラスから、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されました。

今シーズン国内初となる高病原性鳥インフルエンザ確認事例となります。すでに国内にウイルスが侵入しています。今一度、野生動物侵入防止や消毒などの発生予防対策を徹底するとともに、毎日の健康観察で異状を認めた場合は、直ちに通報してください。

＜経緯＞
10月30日(金)～2日(月)
・秋田県由利本荘市でハシブトガラス計7羽の死亡個体を回収。
11月４日(水)
・１日及び２日に回収された個体のうち２羽について検体を国立環境研究所に送付。
11月６日(金)
・遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）を 検出。
＜対応＞
・回収地点の周辺１０ｋｍ圏内を野鳥監視重点区域に指定し監視強化



◆現在の国内野鳥のHPAI発生状況は環境省HP（https://www.env.go.jp/press/111118_00087.html ）を参照

【発生予防対策のポイント】



・衛生管理区域内に入る車両の消毒！
・野生動物侵入防止対策の徹底！
・鶏舎出入口や周辺の消毒徹底！
・対策の点検・補修・改善！
・毎日の健康観察！
・早期発見、早期通報！

京都府中丹家畜保健衛生所
福知山市字半田371-2
☎：0773-25-1860
＊休日・夜間は転送されます